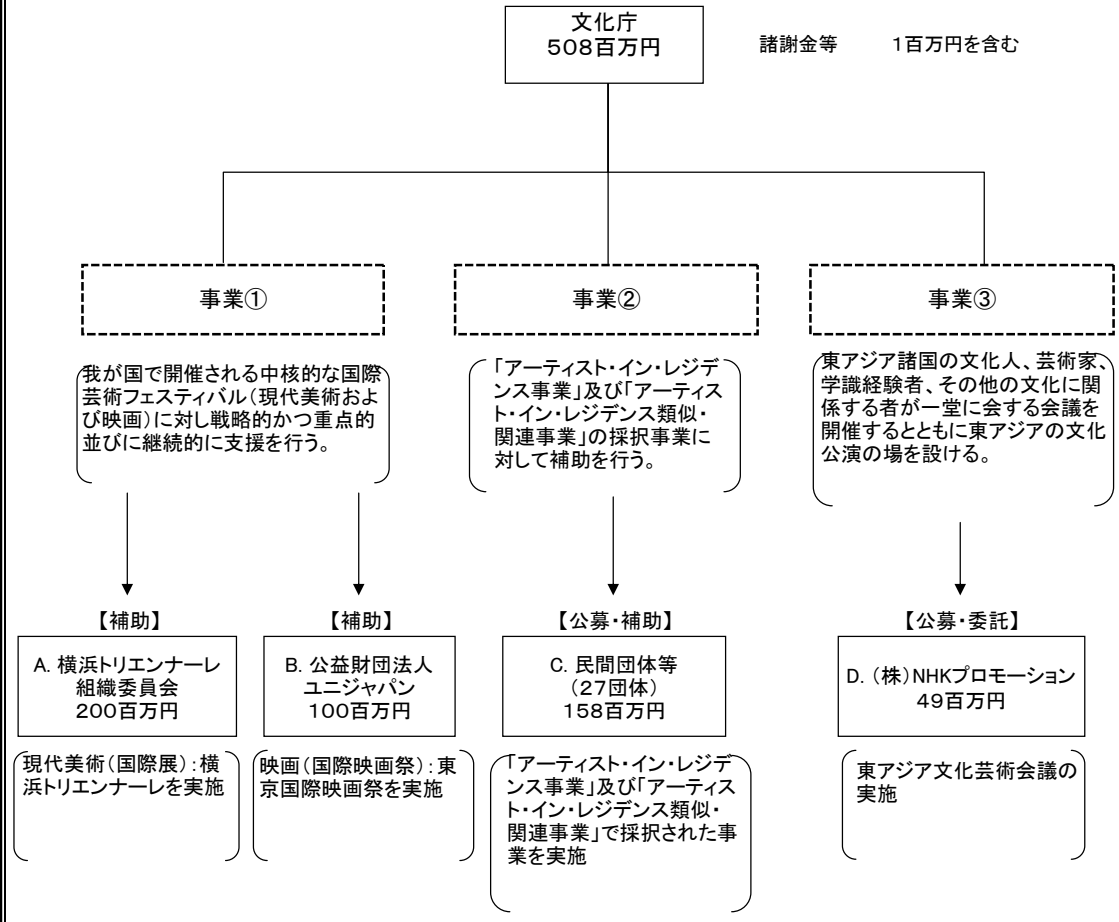


平成24年行政事業レビューシート (文部科学省)							
事業名	文化芸術の海外発信拠点形成事業等		担当部局庁	文化庁		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度		担当課室	長官官房国際課		国際課長 佐藤 透	
会計区分	一般会計		施策名	XⅢ-3 日本文化の発信及び国際文化交流の推進			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	文化芸術振興基本法 第15条		関係する計画、通知等	文化芸術の振興に関する基本的な方針(第3次基本方針)(平成23年2月8日閣議決定)			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	我が国で開催される中核的な国際芸術フェスティバルへの重点的支援を通じた文化芸術の世界的拠点の育成や各地域で取り組まれている特色ある国際文化交流事業(アーティスト・イン・レジデンスなど)への支援を通じた文化創造と国際的発信の拠点作りを推進し、我が国の文化芸術の水準向上を図るとともに海外への情報発信を強化する。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	①国際芸術フェスティバル支援事業 我が国で開催される中核的な国際芸術フェスティバル(映画)に対し戦略的かつ重点的並びに継続的に支援を行う。 ②文化芸術の海外発信拠点形成事業 「アーティスト・イン・レジデンス事業」外国人芸術家を招へいして滞在型の芸術創造支援プログラムやこれに附随して実施される公演、展覧会、セミナー、ワークショップ等の事業に対して補助を行う。 「アーティスト・イン・レジデンス類似・関連事業」国際展等の国際芸術フェスティバルにおいて、外国人芸術家を招へいして行う滞在型の芸術創造、展覧会・公演等のプログラムや優れた外国人芸術家を招へいして行う滞在型の国内外若手芸術家の教育プログラム等に対して補助を行う。 ※ 東アジア文化芸術会議(東アジア共生会議)は、「東アジア文化交流推進プロジェクト」へ。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求
		補正予算			512	225	247
		繰越し等			-	-	
		計			512	225	247
	執行額			508			
	執行率(%)			99.3%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)
	本事業は、国の継続的な支援により、将来に向けて文化創造と国際的発信の拠点づくりを推進すること目的としており、成果がすぐに現れないことから、定量的な指標を設定することは困難である。		成果実績				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	事業① 当該年度の対象事業数 事業② 採択予定数 アーティスト・イン・レジデンス事業数 - アーティスト・イン・レジデンス類似・関連事業		活動実績 (当初見込み)			①2 ②20-7 ( ) (①2) (②20-6)	- (①1) (②24-3)
単位当たりコスト	①150 (百万円/件) ②5.9 (百万円/件)		算出根拠	①執行額 300百万円/2団体 ②執行額 158百万円/27団体			
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	文化芸術振興費補助金	224 百万円	246 百万円				
	諸謝金	0.3 百万円	0.3 百万円				
	職員旅費	0.4 百万円	0.4 百万円				
	委員等旅費	0.2 百万円	0.2 百万円				
	庁費	0.01 百万円	0.01 百万円				
	計	225 百万円	247 百万円	※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない			

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	①国際芸術フェスティバル支援事業は、日本の中核的な国際芸術フェスティバルに限定した支援事業であり、我が国の文化芸術の海外発信拠点形成を図るために、我が国が実施すべき事業である。 ②文化芸術の海外発信拠点形成事業については、平成23年度において、27団体の採択に対し、66件と2.5倍以上の応募があり、本事業に対するニーズが高いと判断できる。また、本事業は、我が国の文化芸術の海外発信拠点形成を図ることを目的とするものであり、国が実施すべき事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	①国際芸術フェスティバル支援事業の支出先は、補助金交付要綱で定められている。また、補助可能な費目については補助金交付要綱に定め、事業実施に必要なものに限定している。 ②文化芸術の海外発信拠点形成事業については、公募を行い、事業選定に係る協力者会議を設けて、採択団体を決定しているため、競争性が確保されている。また、補助可能な費目については、補助金交付要綱に定め、事業実施に必要なものに限定している。
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	①国際芸術フェスティバル支援事業の交付決定にあたっては、過去の決算額を基礎とし、必要経費の算出を行っている。東京国際映画祭については、経済産業省、東京都などとの政策目標と役割分担を踏まえ、異なる費目への補助を行っている。 ②文化芸術の海外発信拠点形成事業については、補助団体の申請書に事業実施の目標を記載することを求め、その成果を、事業終了翌年に協力者会議において評価することとしている。また、上記協力者会議や補助団体との意見交換会を通じて、本事業の有効性、実効性等を検証し、事業の改善を図っている。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	①②国際芸術フェスティバル支援事業及び文化芸術の海外発信拠点形成事業については、上記、評価に関する説明にも記載したとおり、事業実施の必要性は高く、資金投入の合理性を確保する一方、事業の評価・見直しを行うことで、その有効性、実効性についても担保している。また、国庫支出の在り方についても、収支報告に合わせ証憑関係書類の提出を求め、その内容の突合を行うことで適正性を担保している。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	1. 事業評価の観点：本事業は、我が国の文化芸術の水準向上及び海外への情報発信の強化を目的に、我が国で開催される中核的な国際芸術祭等への補助を実施するものであり、補助対象事業の有益性、有効性、効率性の観点から検証をおこなった。 2. 所見：本事業のうち「国際芸術フェスティバル支援事業」については、補助経費の区分などによる適正な経理を引き続き確保するとともに、更なる事業の効率化を目指し、積算単価を再検証するなど引き続きコスト削減に努めるべきである。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減	予算執行の実績を的確に把握し、文化芸術振興費補助金の積算見直しを行い、概算要求に▲10百万円反映した。		
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
文化芸術の振興に関する基本的な方針（第3次基本方針）（平成23年2月8日閣議決定） <a href="http://www.bunka.go.jp/bunka_gyousei/housin/kihon_housin_3ji.html">http://www.bunka.go.jp/bunka_gyousei/housin/kihon_housin_3ji.html</a>			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	—	平成23年行政事業レビュー	新23-0086

※平成23年度実績を記入

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)



費目・使途  
 (「資金の流れ」において  
 ブロックごとに  
 最大の金額が  
 支出されている  
 者について  
 記載する。費  
 目と使途の双  
 方で実情が分  
 かるように記  
 載)

A.横浜トリエンナーレ組織委員会			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
会場費	会場借料、会場設営費	93			
運搬費	作品運搬費	51			
展示制作費	展示設営費、機材費	49			
作品借料	作品借料	7			
計		200	計		0
B.公益財団法人ユニジャパン			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
文芸費	演出料、翻訳料、字幕制作費	44			
会場費	会場使用料	39			
出演費	司会者出演料、通訳料	7			
上映費	映写機材費	6			
作品借料	作品借料	2			
招へい旅費	航空運賃、宿泊費	1			
運搬費	作品輸送料金	1			
計		100	計		0
C.有限会社アゴラ企画			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
文芸費	脚本料、演出料、舞台監督料等	5			
舞台費	大道具費、小道具費、照明費等	2			
出演費	出演費	1			
諸謝金等		1			
計		9	計		0
D.(株)NHKプロモーション			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	映像資料制作・配信費、翻訳費、ロゴ制作費、ホームページ制作費等、広告	19			
旅費	外国人招へい、日本人参加者、通訳等	8			
借損料	会場借料、会場設営費	7			
賃金	プロデューサー・ディレクター等賃金	6			
諸謝金	講師謝金、会議出席謝金	3			
その他	打ち合わせ会議費、消耗品費、通信運搬費	1			
一般管理費		4			
計	※表示単位未満四捨五入の関係で、 積み上げと合計は一致しない	49	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	横浜トリエンナーレ組織委員会	「ヨコハマトリエンナーレ2011」開催業務	200	—	—

※補助事業

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	公益財団法人ユニジャパン	「第24回東京国際映画祭」開催業務	100	—	—

※補助事業

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	有限会社アゴラ企画	日仏若手演出家シリーズ	9	—	—
2	国際舞台芸術交流センター	舞台芸術に関するアーティスト・イン・レジデンス(AIR) ネットワーク構築のための国際会議	9	—	—
3	社会福祉法人 滋賀県社会福祉事業団	OutsiderLive of Japan 発信拠点形成事業 糸賀一雄記念賞 第10回音楽祭	9	—	—
4	有限会社スコット	国内外の演劇人を対象とした教育プログラム	9	—	—
5	特定非営利活動法人 BankART1929	新・港村ー小さな未来都市ーBankART Life 3	9	—	—
6	京都造形芸術大学	海外アーティストと芸術大学によるレジデンスプロジェクト 「Creators in University」	8	—	—
7	公益財団法人東京都歴史文化 財団トーキョーワンダーサイト	クリエイター・イン・レジデンス(教育プログラム)、 フォーラム「日本のアーティスト・イン・レジデンスの未来に向けて」	8	—	—
8	アーカスプロジェクト実行委員 会	ARCUS Project 2011 IBARAKI (アーカスプロジェクト2011いばらき)	5	—	—
9	特定非営利活動法人 アーツインシアティヴトウキョウ	東京から世界へ、新たな「知」と「経験」をつなぐアーティスト・イン・レジデ ンス・プログラム～アジア、南米、中東、アフリカなどの国と地域から～	5	—	—
10	公立大学法人青森公立大学	ACACアーティスト・イン・レジデンス2011 「再考現学/Re-Modernologio」	5	—	—

※補助事業

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)NHKプロモーション	「東アジア文化芸術会議」の開催業務	49	企画競争	—